

平成29年度
特別支援教育専攻
試験問題表紙

解答上の注意

1. 試験問題表紙1枚、問題用紙2枚、解答用紙2枚あるかどうかを確認すること。
2. 試験問題は、障害児教育、障害児心理、障害児病理・生理、教育学、教育心理の5分野に分かれている。
この5分野から、1分野を選択して解答すること。
3. 解答用紙にある選択受験分野表に、選択した1分野を○印を入れて示すこと。
4. すべての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
5. 解答は、解答用紙の表面のみ使用すること。裏面への記述は採点対象外とする。
6. 試験終了後は、解答用紙のみを回収するので、解答用紙以外は持ち帰ること。

特別支援教育専攻・試験問題

問題用紙 全2枚 (その1)

障害児教育

- 問題1 障害のある子ども達の就学に関わる、従来の「就学指導委員会」と新しく提示された「教育支援委員会（仮称）」のあり方の違いについて、知るところを述べなさい。
- 問題2 インクルーシブ教育システムの構築に関わって、従来行われてきた交流教育とインクルーシブ教育との関連について、考えるところを述べなさい。

障害児心理

- 問題1 感情認知について、知るところを述べなさい。
- 問題2 カットオフ値と偽陽性・偽陰性について、知るところを述べなさい。図解を加えてもかまいません。

障害児病理・生理

- 問題1 自閉的な子どもの言語、コミュニケーションについて、例をあげてその特徴を述べなさい。
- 問題2 前頭葉のもつ機能について説明し、前頭葉の損傷により生じる障害について説明しなさい。

特別支援教育専攻・試験問題

問題用紙 全2枚 (その2)

教育学

問題1 「学校評議員制度」について、知るところを述べなさい。

問題2 経済協力開発機構 (OECD : Organisation for Economic Co-operation and Development) における「キー・コンピテンシー」について、知るところを述べなさい。

教育心理

問題1 検査の標準化について、知るところを述べなさい。

問題2 preferential looking method について、知るところを述べなさい。